

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方財政は引き続き厳しい状況であります。計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、防災対策について申し上げます。

今年度の防災訓練は、10月8日に新開・南栄地区を対象とした土砂災害警戒区域等の指定に伴う避難訓練と、函館地方気象台及び函館建設管理部職員による講話をいただき、37人の方々が参加されました。

10月20日には国縫地区を対象に、東日本高速道路株式会社など関係機関の協力のもと、津波発生を想定した避難訓練と女性消防団員による応急手当の展示を行い、70人の方々が参加されております。

また、9月28日には、災害時における救援物資の迅速かつ確実な輸送や、日常の独居老人の見守り等を目的とした「長万部町とヤマト運輸株式会社との包括連携協定」を締結いたしました。

今後とも、住民の安全・安心を守るためのまちづくりを進めてまいります。

次に、総合教育会議について申し上げます。

本年4月1日からの教育委員会制度の改革に伴い、首長が招集することとされた長万部町総合教育会議を10月20日に開催いたしました。

総合教育会議では、運営要綱を制定した後、第3次長万部町まちづくり総合計画を踏まえ、本町における教育の目標や施策の根本的な方針となる「長万部町教育大綱」を策定いたしました。

今後も本会議の開催により、迅速な危機管理体制の構築や、教育委員会との協議・調整による政策の方向性の共有など、連携の強化を図ってまいります。

次に、地域コミュニティ対策について申し上げます。

町民のみなさんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域の連携が欠かせないものでありますが、近年、過疎化や高齢化の進展により、小規模町内会での葬儀活動に支障を来しており、本年より社会福祉協議会において葬儀支援サービスを開始したところであります。

町としましても、地域のコミュニティ活動維持のため社会福祉協議会から要請があった場合は、町職員の派遣を行ってまいります。

次に、ＪＲ北海道による列車及び駅の見直しについて申し上げます。

10月に北海道旅客鉄道株式会社本社から担当の方が来庁され、車両や施設の老朽・劣化が著しく進行しており、これらの更新・修繕に必要な資金が不足している状況にあることから、平成28年3月のダイヤ改正から利用の少ない列車や駅の見直しを行わざるを得ないとの説明を受けたところであります。

長万部駅からの普通列車についても、東室蘭方面、函館方面、小樽方面の減便を検討中とのことでありますが、長万部高校への通学をはじめ、通勤や通院、買い物など、鉄道は教育や健康、生活に直結する必要不可欠な交通手段となっております。

このような状況から、11月9日には、沿線の倶知安町、ニセコ町、蘭越町、黒松内町と共に、同社に対し、現状の運行ダイヤの維持を図るなど、地域住民へ及ぼす影響を可能な限り最小限に抑えるべく、慎重な対応を行うよう、要望書を提出してまいりました。

今後も関係する自治体と情報を共有しながら、対応していきたいと考えております。

次に、駅前広場への函館バスの乗り入れについて申し上げます。

かねてより町民のみなさんや議会からもご要望のありました、函館バスの函館線（函館・長万部間）駅前停留所の悪天候対策についてですが、北海道旅客鉄道株式会社函館支社及び長万部駅と函館バスとの協議が整い、11月1日からのダイヤ改正に合わせ、函館線についても駅前広場に乗り入れし、瀬棚線の停留所に設置しているシェルターを共用することで、利用者の利便性の向上が図られたところであります。

また、シェルターの腐食劣化が進んでいることから、せたな町・今金町と本町で構成する北渡島檜山生活交通確保対策協議会で協議し、3町の共同負担によるシェルターの更新が決定されました。早ければ年内には新しいシェルターが設置され、利用者のみなさんが快適にバスをご利用いただけるよう、本定例会に関連する補正予算について提案しております。

次に、まち・ひと・しごと創生総合戦略について申し上げます。

本町の「人口ビジョン」と「長万部町創生総合戦略」については、パブリックコメントや移動町長室でのご意見を踏まえ、10月に策定したところであります。これにより、本年10月末までに総合戦略を策定した自治体が交付対象となる、地方創生先行型の上乗せ交付金事業として、定例町議会において関連補正予算を計上しておりました4事業、総額849万円が全額採択されました。

また、これに加えて、地方創生先行型交付金に係る先駆的事业分として申請しておりました、「本町と東京理科大学との連携による再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス事業」についても、申請どおり3,000万円の交付決定を受けたところであります。

本事業は、理科大との連携事業の中核事業でもありますので、理科大と緊密に連携を取りながら、全力を挙げて取り組んでまいります。

次に、東京都葛飾区との交流事業について申し上げます。

都市と地方との交流促進事業として、10月23日から25日の第31回葛飾区産業フェアと、25日に東京理科大学葛飾キャンパスで開催されました理科大ホームカミングデーという同窓会イベントにそれぞれ出展し、まんべくんの参加なども含め本町の観光PRやふるさと納税のPRなどを実施してまいりました。

産業フェアは総入場者数2万4,000人を超える盛況であり、本町の物販では、葛飾中央ロータリークラブ関係者や道内出身者、理科大長万部キャンパス出身者の家族などが訪れ、菓子・珍味類を中心に完売が相次ぐ状況でありました。一方の理科大ホームカミングデーでは、多くの理科大関係者や葛飾区民の方々、長万部キャンパス出身の方々なども来店された中、1,000玉のホタテバター焼きも全て短時間で完売となり、両イベント共に人気も高く大盛況でありました。

今後は、本行事をきっかけとして引き続き理科大のご協力をいただきながら、特産品の販路開拓や将来の移住促進などにもつながるよう、交流拡大を目指してまいりたいと考えております。

次に、移動町長室について申し上げます。

町政について町民の方と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、「移動町長室」を10月6日から町内4会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ90人の方々が出席され、災害時の避難場所や海岸・河川なども含めた災害対策全般についてや、長万部高校の存続に関するご質問、地域交通や医療問題、除雪対策、地域の雇用創出を求めのご意見など、広範囲な分野において、多くのご意見・ご要望などをいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。

次に、パスポート申請事務の権限移譲について申し上げます。

一般旅券の発給事務申請受理・交付に関する事務については、平成28年度から北海道の事務権限を長万部町へ移譲するため、現在手続きを進めております。

この事務権限が移譲されると、これまで渡島総合振興局で行っていたパスポート申請から交付の手続きは、全て町民課窓口で済ませることができるようになり、交通費や移動時間などの住民負担が軽減されます。

なお、パスポート事務関連用品の導入等に係る費用については、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

今年度4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約1,064トンで、前年度同期と比較し、約18トン減少しております。

また、ごみの減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、長万部町地域女性団体連絡協議会のご協力をいただき5月・7月・11月に実施し、284kgの衣類を回収いたしました。次回は、来年2月を予定しております。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに回収ボックスを設置して、現在までに745リットルを回収しており、使用済小型家電についても、無料回収ボックスを役場庁舎内に設置し、50kgを回収しております。

なお、今年度中に「ゴミ分別の手引き」を作成し、全戸に配布する予定ですので、それを参考に今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、町民の健康増進について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種検診を実施しており、受診率向上のため無料クーポン券配布や対象者への電話勧奨等を積極的に行っております。

また、健康教室や訪問活動、栄養指導等を行いながら、町民の健康づくりを進めており、24時間、年中無休の「長万部町健康ダイヤル24」による健康相談、医療相談も実施しております。

なお、次回の特定健診、がん検診は2月に実施いたしますので、積極的な受診をお願いいたします。

次に、インフルエンザ等の予防について申し上げます。

高齢者インフルエンザ予防接種は、12月1日までに800人から申請がありました。

インフルエンザ流行の兆しがあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図ってまいります。このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

次に、救急医療情報キットについて申し上げます。

高齢者の安全と安心の確保を目的に、救急医療情報キットを11月から希望者に配布しております。

このキットは、自宅に一人にいるときに急病になった場合、救急車を呼ぶことができたとしても、自分の病歴やどんな薬を飲んでいるか、また、緊急時の連絡先などの情報を、救急隊員に伝えることが困難な場合もあります。

それらの情報をあらかじめ準備し、自宅の冷蔵庫に救急医療情報キットとして保管しておくものであり、今後、福祉関係機関とも連携し、周知に努めてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会は、8月31日を皮切りに26地域23会場で実施され、対象者1,304人に対し637人の出席をいただき、出席率は約48.8%となりました。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることをお願いいたします。

また、今年度から長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月14日から16日までと18日から21日までの計7日間、老人福祉センターを無料開放したところ357人が利用されました。

11月25日、ファミリースポーツセンターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が、13クラブ121人の参加で開催されました。

次に、冬期福祉給付金(福祉灯油)について申し上げます。

本格的な冬に向かい、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、10月15日の調査では、概ね平年並の収量となっております。

生乳生産量は、4月から10月まで6,178トンを出荷し、前年に比べ18トンの減となりましたが、乳代は5億4,456万7千円で、前年に比べ2,627万円の増となっております。

黒毛和牛の4月から10月までの販売頭数は154頭、販売金額は9,426万6千円で、前年同期と比較して、販売頭数は20頭の減となりましたが、市場価格の高騰により販売金額は456万7千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、10月28日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は71,692頭で、前年に比べ3,838頭の増となりました。

また、知来地区において、養豚事業開始を計画しております日本ハム子会社のインターファーム株式会社につきましては、11月17日に地域住民に対する説明会を実施し、平成28年度の農場建設着工に向けて、各関係機関との協議を進めております。

新規就農者対策としては、10月3日に東京都、10月24日に札幌市で開催されました「新・農業人フェア」に長万部町のブースを出展し、農業に興味がある来場者28組34名の就農相談があり、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業では、森林環境保全整備事業で実施した静狩地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、10月26日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での11月末現在の種苗生育状況は、へい死・変形等が少なく、比較的良好に推移しており、渡島北部地区水産技術普及指導所による調査結果では、へい死が最も多い時期も無事乗り越えたとのことでありますが、耳吊り作業が開始される来年2月頃まで、引き続き、各関係機関が連携し、調査を行う予定となっております。

本年の秋鮭漁は、11月20日現在、漁獲量は約549トンで、前年に比べ約275トンの減となり、漁獲金額も約2億2,715万円で、前年に比べ約9,175万円の減収となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、中小企業の健全育成と経営安定のため、様々な国や道の金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定等の窓口の設置を行っております。

北海道の補助金により、長万部商工会が10月28日に追加発売したプレミアム付商品券3千万円分は好評をいただき、当日中に完売となりました。2回発売されましたプレミアム付商品券の利用有効期間が平成28年1月15日までとなっておりますので、有効に利用いただけるように周知してまいります。

次に、本年度上期の観光客入り込み数は、昨年までの特急列車減便の影響も解消され、5月の大型連休より本州からの観光客を中心に長万部駅及び観光案内所の利用者が順調に推移しており、9月末までは前年度を上回る状況で、上期全体としては、前年度に比べ0.6%増加して約31万1千人となっております。

また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されましたサッポロビアガーデンふるさとPRステージやオータムフェスト2015に参加したほか、先ほども申し上げましたが、東京で開催されました第31回葛飾区産業フェアや東京理科大学ホームカミングデーに初めて参加し、長万部町の観光PRを行いました。

これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めました。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や還付金詐欺、送り込み詐欺など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、啓発活動が欠かせない状況となっていることから、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設事業について申し上げます。

建築事業では、長万部中学校トイレ一部洋式化工事をはじめ、体育館外壁修繕工事、給食室屋上防水改修工事のほか、高砂振興会館屋根修繕工事、学習文化センター玄関上部外壁改修工事など公共施設の修繕工事を計画的に実施しており、それぞれ工期内に完了しております。

また、町営住宅の住宅設備劣化による修理費が増大しているため、その修理費について本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事は、工期内に完成しております。

また、橋梁長寿命化修繕事業の一環として実施した長万部中央跨線橋外修繕工事につきましても、工期内に完成しております。

9月2日に発生した豪雨により、路肩崩落の被害のありました町道オタモイ線につきまして、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法による復旧工事を実施するため、その工事費について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

また、冬期雇用安定対策事業としてメムナイ川外床下げ工事を実施いたしますので、その委託料について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月16日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

第2回定例会において議決をいただきました除雪ドーザは、12月15日に納入予定で準備が進められております。

また、第3回定例会において補正予算の議決をいただいた、ハンドガイド型ロータリー除雪機は、11月18日納入されております。

次に、公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、10月31日で終了いたしました。キャンプ場利用者は2,336人で、昨年度に比べ19.0%の増となっております。バンガロー利用棟数は245棟で、昨年度に比べ3.8%の増となっております。

また、あやめ公園パークゴルフ場の利用は11月8日で終了いたしました。パークゴルフ場利用者は7,126人で、昨年度に比べ19.2%の増となっております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の駅前通線工区は、11月30日に完了しております。

次に、水道事業について申し上げます。

長万部2号配水池内部塗装修繕工事は、11月30日に完了しております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年11月末日現在の火災発生件数は3件、救急件数は267件で、うち、ドクターヘリでの搬送は4件となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中に、病院や福祉施設、ホテルや旅館、大型店舗など、不特定多数の人が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による防火広報や街頭啓発、紙芝居を用いた幼児への防火教育を実施しました。

救急関係の事業では、応急手当の普及並びに救命率の向上を図るため、上級救命講習を3回実施し、町職員や女性消防団員、一般町民など17人が受講されました。

消防団の活動については、10月20日に国縫地区で行われた津波避難訓練に、30人の消防団員が参加し、国縫分団による避難誘導や女性消防団員による応急手当の展示などを実施しました。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、条例の一部改正、各会計補正予算など、合わせて11件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。